

第 36 回

パチンコ景気動向指数 (DI)

調査結果

DI (Diffusion Index) とは？

パチンコ業界における景気動向を把握するため、平成 12 年 6 月より四半期 (3、6、9、12 月) ごとに実施している調査。

今回の調査について

1. 調査対象： A c l u b 会員 (エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス会員) ほか、全国の有力パチンコ店経営企業
日本遊技関連事業協会、パチンコ・チェーンストア協会、日本遊技産業経営者同友会、余暇環境整備推進協議会の調査協力を得て実施。
2. 実施時期： 2009 年 3 月 19 日 ~ 2009 年 3 月 31 日
3. 調査方法： F A X にて送付・回答
4. 回収状況： 有効回収数 88 社

2009 年 4 月

調査結果のポイント

全般的業況は2.9と大きく回復

現況(平成21年3月)の各社の業況判断DI値は、2.9と前回調査時のマイナス33.0から、35.9ポイントの大幅改善となった。

見通し(3ヶ月後)については、マイナス9.5と先行きへの不安を尚残している。

<各規模事業者ともに業況改善>

現況の業況判断を規模別にみると、小規模事業者でDI値2.6と前回から49.5ポイントの改善。中規模事業者でDI値マイナス11.8と前回から2.9ポイントの改善。大規模事業者はDI値18.2と前回から58.2ポイントの改善となっている。

見通し(3ヶ月後)では、小規模事業者(マイナス7.9)、中規模事業者(マイナス20.6)、大規模事業者(±0.0)と、大・小規模事業者で現況より数値改善となっているものの、各規模ともにマイナス圏での推移となっている。

パチンコ現況は改善、各規模事業者ともに上げる

パチンコの稼動状況のDI値は10.6と、前回のマイナス26.7から37.3ポイントの大幅改善となった。

前12月期は、10月下旬に、日経平均株価がバブル崩壊後最安値を更新するのと相前後して雇用情勢の悪化が急激に進み、不況ムードが社会を包み込んだ。12月期は、その影響が現れる結果となった。正月営業を含む、3月期は例年通りの上昇となった。

見通し(3ヶ月後)は±0.0となっており、先行きに不安を残している。

前12月期と比べると、小規模事業者は52.2ポイントの改善、中規模事業者は20.3ポイントの改善、大規模事業者は39.2ポイントの改善と各規模ともに上げている。

尚も低迷続くパチスロ市況

パチスロの稼動状況のDI値はマイナス44.8と、前回のマイナス47.3からは2.5ポイントの上昇となっている。5号機時代を迎えた一昨年9月期以降パチスロ市況は低迷を続けている。

前12月期と比べると、小規模事業者は0.9ポイントの悪化、中規模事業者は3.0ポイントの悪化、大規模事業者は10.7ポイントの改善となっている。

見通し(3ヶ月後)は、マイナス44.8と、尚厳しいものとなっている。

平成21年度正社員採用は、中・大規模事業者で活発 新卒採用で「質」、「量」とともに確保は3割に留まる

平成21年度の正社員の人材採用にあたっては、「新卒採用」から「アルバイトからの採用」までの各対象について、中規模事業者では4～5割以上の企業が、大規模事業者では6～7割前後以上で採用活動を実施している。

新卒採用実績企業の「質と量の確保」については、「質」と「量」とともに予定通り確保できた企業は、3割にとどまっている。

また、平成20年度の新卒採用実績ありの27社中、1年以内の離職率は以下のようにになっている。「離職なし:29.6%」、「～20%未満:22.2%」、「20%:14.8%」、「20%超～30%未満:22.2%」、「33%:3.7%」、「38%:3.7%」、「60%:3.7%」。

景況キーワード

社会情勢、景気動向の先行きに不安

世の中の不景気の波がいつ業界に波及してくるかとの不安の声が多い。既に、『2月中旬からの落ち込みは深刻。』や『アルバイト求人の際、「派遣切り」を理由にされる40代男性の応募が増えている。店舗が想定している主な顧客層にあたる方々の応募に、不安を感じている。』との声も。また、『今のMAXタイプの比率と相まって客離れと資金繰り(機械台の買い過ぎによる)の悪化に注意が必要。特に5月のGW明けが恐ろしい。』といった意見も。

機械代をはじめとする経費が大きな負担に

パチスロの先行きが見えない中、パチンコ重視の営業展開を中心に据える店が多い。そうした中で『パチンコ機単価の上昇とメーカーの台数しぼりに不安を覚える。』や『遊技機の販売方法等による機械購入費の増加、収益の悪化。』など、経費負担が重くのしかかっている。

< 主要指標 パチンコ業界全体 >

項目	D.I. 値			業界天気		コメント
	前回現状	現状	見通し	現状	見通し	
1. 全般的業況	-33.0	2.9	-9.5			全般的業況は曇りに回復。見通しも曇り。
2. 稼働状況 (パチンコ)	-26.7	10.6	0.0			現況は雨から薄曇りに改善。先行き見通しは曇り。
3. 稼働状況 (パチスロ)	-47.3	-44.8	-44.8			現況引き続いて雷雨。先行き見通しも雷雨。
4. 資本投入気運の変化 (台)	-10.8	20.9	-15.1			現況は雨から薄曇りに改善。先行き見通しは雨。
5. 資本投入気運の変化 (設備)	-16.2	-3.4	-10.3			現況は雨から曇りに改善。見通しは雨模様。
6. 営業用設備の不足感	2.2	-1.0	1.0			設備不足感はほぼ横ばい。見通しも小康状態を保つ。
7. 雇用人員の不足感	17.6	17.1	3.8			人材不足感は小康状態を保つ。

注：前回現状は2008年12月調査時の結果

天気記号使用基準

記号	数値	記号	数値
晴れ	30.0 ~	雨	-29.9 ~ -10.0
薄曇り	10.0 ~ 29.9	雷雨	~ -30.0
曇り	-9.9 ~ 9.9		

全般的概要 - 業況

業況判断DI値は2.9とプラス圏に回復

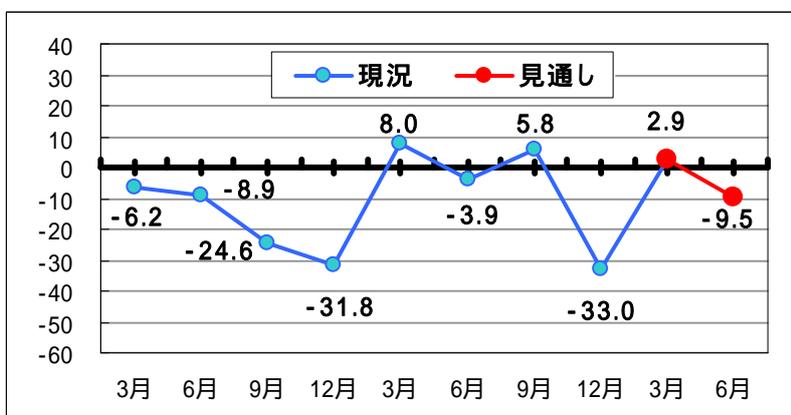
現況(平成21年3月の業況判断)は「良い」が16.6ポイント増加して21.0%となり、「悪い」が19.3ポイント減少して18.1%となり、DI指数は2.9と前回のマイナス33.0から、35.9ポイントの大幅改善となった。

前12月期は、世界同時不況の影響も加わってか、過去と同様に年末にかけての下降曲線を辿っていた。正月営業期を含む今3月期は、例年通り4四半期のなかでは高い数値となった。

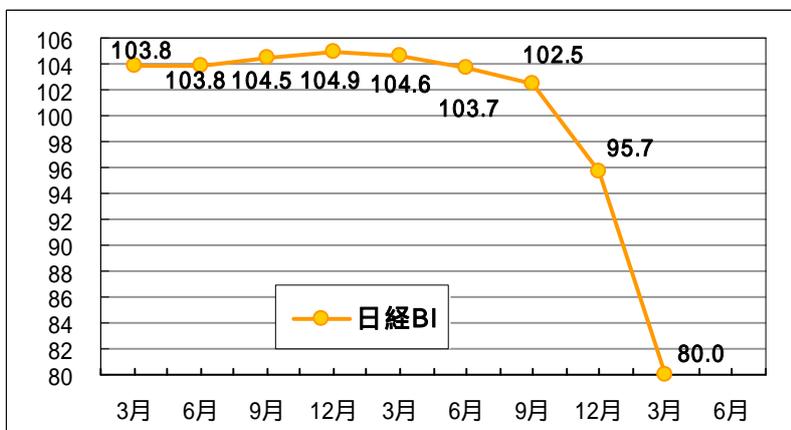
見通し(3ヶ月後)については、マイナス9.5と先行きへの不安を尚残している。

代表的な民間の景気動向指数である日経景気インデックス「日経BI」の2月速報値は80.0(2005年平均=100)に悪化した。指数が前月から低下するのは7カ月連続で、2月はマイナス5.3ポイントと3カ月連続で5ポイント超の大幅な落ち込みとなった。2月は日経BIを構成する鉱工業生産、商業販売額、所定外労働時間、有効求人倍率の4指標がすべて悪化した。全指標の悪化は5カ月連続。直近のピークをつけた07年10月(景気の山)から一年半足らずの間に25.4ポイント下がり、急速な景気の悪化を裏付けている。

< 現況の推移と見通し >



< 日経景気インデックスデータ (日経BI) >



インデックスデータは、1 - 3月の平均を3月に示した。直近の3月は2月速報値。

日経景気インデックス(日経BI)
 景気動向を反映する生産、需要、所得、労働の4つの側面を代表する指標(鉱工業生産、商業販売額、所定外労働時間、有効求人倍率)から共通する「景気の波」を抽出したものの。「景気」そのものの变化方向と水準を表す。構成要素の4指標はすべて翌月末までに公表されるため速報性に優れている。
 BIはビジネス・インデックス(Business Index)の略。(2005年7月=100)

全般的概要 - 業況判断理由と経営上の課題

悪業績の理由、約8割が『来店客数の減少』

業況判断を「悪い」(18.1%)と下した理由は、『来店客数の減少』(81.3%)、『店舗数の増加』(12.5%)の順となっている。

各規模ともに『人材教育・育成』が上昇

経営上の課題の上位項目で、全体で前回より回答率が上昇したのは『人材育成・教育』(60.2%:15.0ポイント上昇)となっている。

事業者の規模別にみると、小規模事業者では、52.6%(15.1ポイント上昇)、中規模事業者では58.1%(6.3ポイント上昇)、大規模事業者では78.9%(28.9ポイント上昇)となっている。

新たな人材を迎える時期を前にしていることや、以前に比べて営業・販促面での店舗差別化が困難になってきていることも『人材育成・教育』が上位の課題となった理由と推測される。

『メーカーの遊技機販売の縛り』は課題の上位に位置

経営上の課題として従来聞いていた『料金改定が困難』(低い回答率が続いたため除外した。)に替えて今回より『メーカーの遊技機販売の縛り』を設問に加えた。

『メーカーの遊技機販売の縛り』は全体では56.8%で2位となっている。事業者の規模別にみると、小規模事業者では、71.1%(1位)、中規模事業者では48.4%(3位)、大規模事業者では42.1%(2位)となっている。特に、小規模事業者にとっては大きな課題となっている。

< 経営上の課題 >

項目	全体 (9月)	全体 (12月)	全体 (3月)	小規模 事業者	中規模 事業者	大規模 事業者
人材教育・育成	55.8%	45.2%	60.2%	52.6%	58.1%	78.9%
メーカーの遊技機販売の縛り	-	-	56.8%	71.1%	48.4%	42.1%
他の同業他社との競争激化	62.8%	57.5%	50.0%	47.4%	61.3%	36.8%
資金調達	26.7%	31.5%	25.0%	21.1%	22.6%	36.8%
不明瞭な行政指導	18.6%	20.5%	19.3%	21.1%	16.1%	21.1%
時間帯・曜日などの客の偏り	23.3%	28.8%	19.3%	18.4%	22.6%	15.8%
設備・運営費の増加	29.1%	27.4%	18.2%	15.8%	9.7%	36.8%
公的な規制	11.6%	20.5%	17.0%	18.4%	19.4%	10.5%
人材不足・人材確保	32.6%	16.4%	10.2%	7.9%	12.9%	10.5%
人件費の増加	11.6%	13.7%	8.0%	5.3%	12.9%	5.3%
組合の自主規制	7.0%	11.0%	4.5%	5.3%	3.2%	5.3%
料金改定が困難	2.3%	1.4%	-	-	-	-

：小規模事業者 = 1～3店舗 中規模事業者 = 4～10店舗 大規模事業者 = 11店舗以上

全般的概要 - 稼働状況

パチンコ現況は改善、各規模事業者ともに上げる

現況の稼働状況は10.6と、前回のマイナス26.7から37.3ポイントの大幅改善となった。

前12月期は、10月下旬に、日経平均株価がバブル崩壊後最安値を更新するのと相前後して雇用情勢の悪化が急激に進み、不況ムードが社会を包み込んだ。12月期は、その影響が現れる結果となった。正月営業を含む、3月期は例年通りの上昇となった。

見通し(3ヵ月後)は±0.0となっており、先行きに不安を残している。

現況の稼働状況を規模別にみると、小規模事業者(1~3店舗保有)が13.5、中規模事業者(4~10店舗)が2.9、大規模事業者(11店舗以上保有)が15.2となっている。

前12月期と比べると、小規模事業者は52.2ポイントの改善、中規模事業者は20.5ポイントの改善、大規模事業者は39.2ポイントの改善と各規模ともに上げている。

尚も低迷続くパチスロ市況

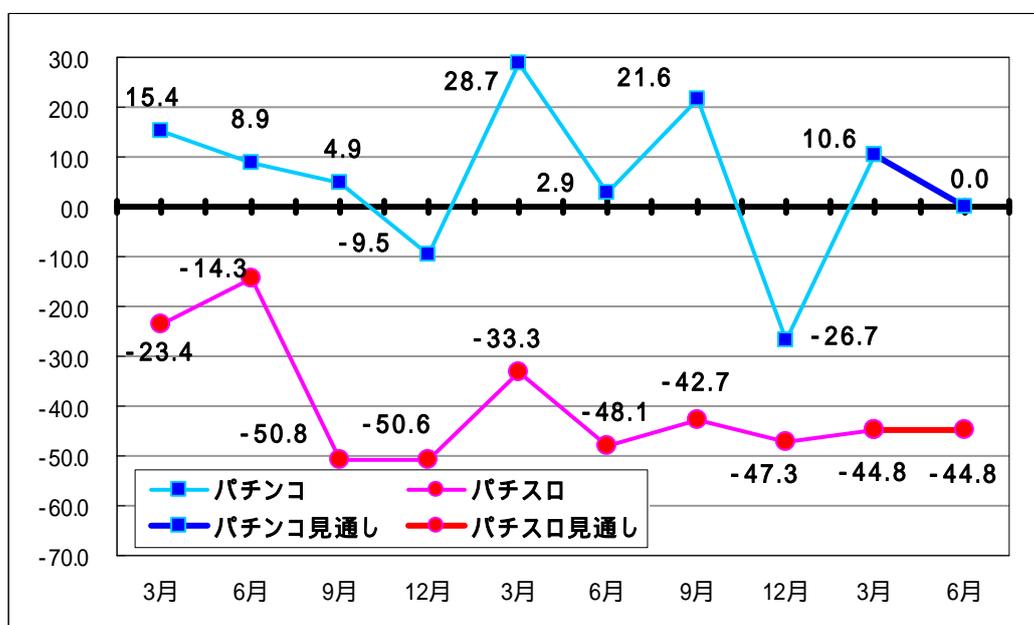
現況の稼働状況は、マイナス44.8と、前回のマイナス47.3からは2.5ポイントの上昇となっている。5号機時代を迎えた一昨年9月期以降パチスロ市況は低迷を続けている。

見通し(3ヶ月後)は、マイナス44.8と、現況と同様の数値となっている。

現況の稼働状況を規模別にみると、小規模事業者(1~3店舗保有)がマイナス44.7、中規模事業者(4~10店舗)がマイナス55.9、大規模事業者(11店舗以上保有)がマイナス33.3となっている。

前12月期と比べると、小規模事業者は0.9ポイントの悪化、中規模事業者は3.0ポイントの悪化、大規模事業者は10.7ポイントの改善となっている。

<稼働状況の推移と見通し(パチンコとパチスロ)>



地域別の業況

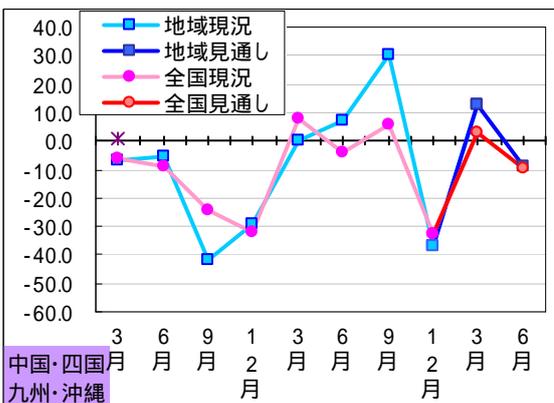
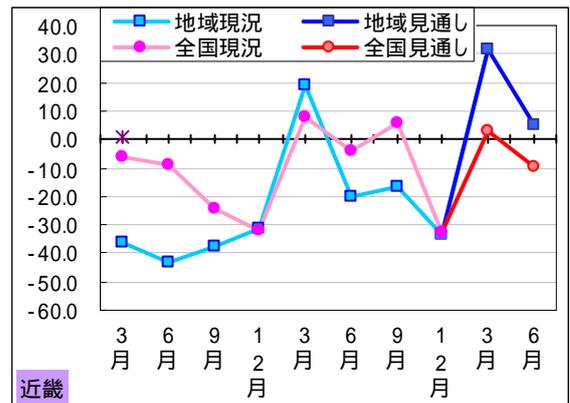
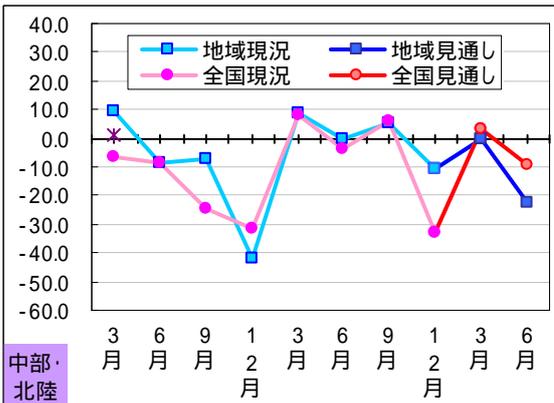
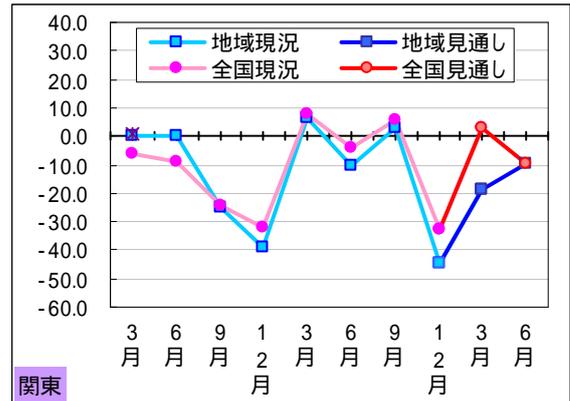
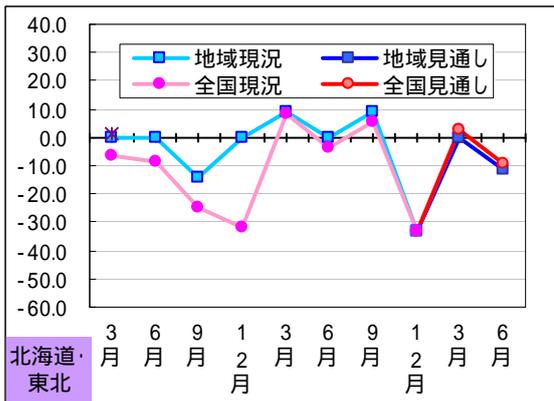
全地区ともに現況回復、見通しは「近畿」を除いてマイナス圏に

現況のDI値は、全地区ともに前12月期に比べて数値を上げている。関東のみ現況DI値マイナス18.8とマイナス圏で推移しており、一般的業況の悪い企業が多くなっている。

見通し(3ヶ月後)については、5.3の「近畿」を除いて、全てマイナス圏の数値となっている。

< 地域別集計母数 >

地区別業況判断の集計母数は以下。北海道・東北(9)、関東(32)、中部・北陸(22)、近畿(19)、中国・四国・九州・沖縄(23)



規模別業況

各規模で現況改善、見通しは各規模ともに下げる

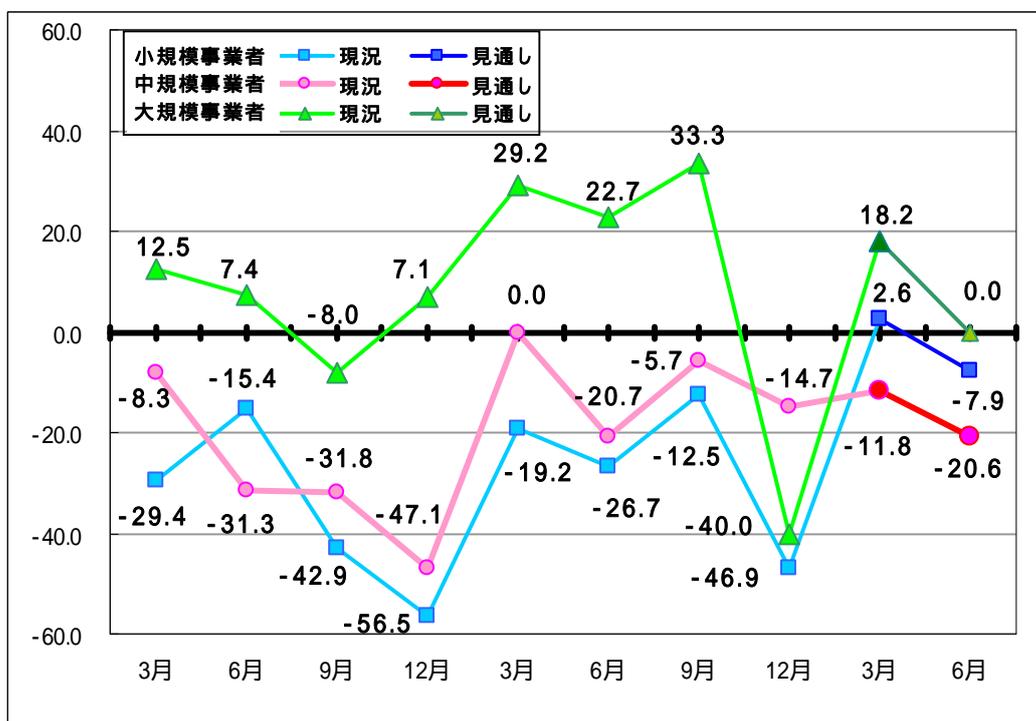
現況の業況判断を規模別にみると、小規模事業者でDI値2.6と前回から49.5ポイントの改善。中規模事業者でDI値マイナス11.8と前回から2.9ポイントの改善。大規模事業者はDI値18.2と前回から58.2ポイントの改善となっている。

見通し(3ヶ月後)では、小規模事業者(マイナス7.9)、中規模事業者(マイナス20.6)、大規模事業者(±0.0)と、大・小規模事業者で現況より数値改善となっているものの、各規模ともにマイナス圏での推移となっている。

< 規模別集計母数 >

地区別業況判断の集計母数は以下。小規模事業者(38)、中規模事業者(34)、大規模事業者(33)

< 規模別：業況の推移と見通し >



注：小規模事業者 = 1 ~ 3 店舗 中規模事業者 = 4 ~ 10 店舗 大規模事業者 = 11 店舗以上

人材採用について

大規模中心に底堅い

平成 21 年度の正社員の人材採用にあたっては、「新卒採用」から「アルバイトからの採用」までの各対象について、中規模事業者では4～5割以上の企業が、大規模事業者では6～7割前後以上の企業で採用活動を実施している。

実際に採用に結びついたのは、「中途採用」では、大・中規模事業者で9割前後、小規模事業者で6～7割前後となっている。「新卒採用」については、大規模事業者で10割、中規模事業者で8割強と規模の大きな事業者での実績が高くなっている。小規模事業者での「新卒採用」は、実施2社に対して実績あり1社であった。

新卒採用について「質」「量」ともに確保は採用実績企業中の3割

新卒採用実績企業のうち、「質と量の確保」については、「質」「量」ともに予定通り確保できた企業は、3割にとどまっている。

また、平成 20 年度の新卒採用実績ありの 27 社中、1年以内の離職率は以下のようになっている。「離職なし:29.6%」、「～20%未満:22.2%」、「20%:14.8%」、「20%超～30%未満:22.2%」、「33%:3.7%」、「38%:3.7%」、「60%:3.7%」。

< 実施した採用活動 >

実施した採用活動	全体	小規模事業者	中規模事業者	大規模事業者
新卒採用	37.5%	5.3%	45.2%	89.5%
中途採用（業界経験者）	45.5%	26.3%	54.8%	68.4%
中途採用（業界非経験者）	45.5%	23.7%	61.3%	63.2%
アルバイトからの採用	54.5%	42.1%	48.4%	89.5%
現状維持（採用活動/採用せず）	10.2%	23.7%	0.0%	0.0%

注：小規模事業者 = 1～3店舗 中規模事業者 = 4～10店舗 大規模事業者 = 11店舗以上

< 採用に結びついたもの（採用活動実施企業中） >

採用に結びついたもの	全体	小規模事業者	中規模事業者	大規模事業者
新卒採用	90.9%	50.0%	85.7%	100.0%
中途採用（業界経験者）	82.5%	60.0%	88.2%	92.3%
中途採用（業界非経験者）	82.5%	66.7%	84.2%	91.7%
アルバイトからの採用	79.2%	68.8%	73.3%	94.1%

注：小規模事業者 = 1～3店舗 中規模事業者 = 4～10店舗 大規模事業者 = 11店舗以上

< 質と量についての採用実績評価（新卒採用者） >

質と量の確保状況	全体
質、量ともに予定通り確保	30.0%
質は満足いかなかったが量は確保	23.3%
予定数は確保できなかったが質は満足	23.3%
質、量ともに満足いかなかった	16.7%

調査結果概要 DATA

規模（店舗数）別

項目	DI 値区分	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し
1. 全般的業況		-46.9	2.6	-7.9	-14.7	-11.8	-20.6	-40.0	18.2	0.0
2. 稼働状況（パチンコ）		-38.7	13.5	2.7	-17.6	2.9	-5.9	-24.0	15.2	3.0
3. 稼働状況（パチスロ）		-43.8	-44.7	-44.7	-52.9	-55.9	-61.8	-44.0	-33.3	-27.3
4. 資本投入気運の変化（台）		-6.3	13.9	-25.0	-9.7	32.3	-9.7	-27.3	15.8	15.8
5. 資本投入機運の変化（設備）		-25.0	-10.8	-18.9	-12.9	0.0	-12.9	0.0	5.3	10.5
6. 営業用設備の不足感		9.4	0.0	5.3	-2.9	0.0	-3.0	0.0	-3.0	0.0
7. 雇用人員の不足感		15.6	21.1	23.7	26.5	20.6	5.9	8.0	9.1	-21.2

注：小規模事業者 = 1～3店舗 中規模事業者 = 4～10店舗 大規模事業者 = 11店舗以上

地域別

項目	DI 値区分	北海道・東北			関東			中部・北陸		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し
1. 全般的業況		-33.3	0.0	-11.1	-44.8	-18.8	-9.4	-10.5	0.0	-22.7
2. 稼働状況（パチンコ）		-11.1	-11.1	-22.2	-48.3	-12.5	6.3	-5.6	0.0	-14.3
3. 稼働状況（パチスロ）		-44.4	-77.8	-77.8	-41.4	-65.6	-59.4	-42.1	-27.3	-36.4
4. 営業用設備の不足感		11.1	0.0	0.0	10.3	6.3	3.1	-5.3	0.0	-4.8
5. 雇用人員の不足感		0.0	33.3	-22.2	13.8	21.9	9.4	10.5	4.5	-9.1

項目	DI 値区分	近畿			中国・四国・九州・沖縄		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し
1. 全般的業況		-33.3	31.6	5.3	-36.8	13.0	-8.7
2. 稼働状況（パチンコ）		-20.0	52.6	10.5	-26.3	26.1	4.3
3. 稼働状況（パチスロ）		-66.7	-36.8	-42.1	-47.4	-26.1	-21.7
4. 営業用設備の不足感		6.7	-15.8	-5.3	-10.5	0.0	-8.7
5. 雇用人員の不足感		33.3	10.5	15.8	26.3	21.7	-8.7

営業用設備の不足感、雇用人員の不足感が強いほどに設備投入機運の採用、活用に結びつくものであり、業況は改善に向かうものと判断される

資金繰り等の現況推移

項目	対象時期	パチンコ業界全体			小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者		
		9月調査	12月調査	3月調査	9月調査	12月調査	3月調査	9月調査	12月調査	3月調査	9月調査	12月調査	3月調査
資金繰り		-5.6	-13.5	-4.7	-15.6	-34.4	8.3	-8.3	6.5	-16.1	14.3	-16.7	-10.5
貸出態度		-43.8	-35.6	-29.1	-50.0	-45.2	-30.6	-50.0	-32.3	-32.3	-23.8	-18.2	-21.1
借入金利		-12.8	0.0	10.7	-16.7	0.0	17.1	-11.4	3.2	13.3	-9.5	-9.1	-5.3

注：小規模事業者 = 1～3店舗 中規模事業者 = 4～10店舗 大規模事業者 = 11店舗以上

SERVICE

提供商品

Entertainment Business Institute



基礎研究・応用研究

コンサルティング・講演・勉強会

・経営支援・人材育成・店舗運営・事業企画、開発

パーラー向け会員サービス「**Aclub**®」

・電子メール、FAX情報提供・セミナー優待

出版・研究報告書

・パチンコ参加実態調査
・駅別乗降者数総覧<年刊>
・研究報告書、関連書籍

インターネット・システム構築

・社内ネットワーク設計
・ホームページ制作、運用支援

カジノ関連

・UNLVエグゼクティブセミナー
・カジノ視察ツアーコーディネート

第37回 パチンコ景気動向指数（DI）調査に ご協力を

業界四団体が協力

本調査は

- ・日本遊技産業経営者同友会
- ・日本遊技関連事業協会
- ・パチンコ・チェーンストア協会
- ・余暇環境整備推進協議会

の業界4団体のご協力を得て実施しております。

金融機関も参考にするデータ

最近では、銀行、証券会社等からの本調査に関するお問合せも増えており、パチンコ業界の業況を示すデータとしてその重要性は高まってきています。

ぜひ、本調査にご協力ください。

貴社のデータが加わることで、よりパチンコ業界の現況を正しく業界の内外に伝えることが可能になります。

ご協力をいただける方は下記にご記入のうえ

F A X : 0 3 - 5 6 8 8 - 5 3 5 3 へご返信ください。

次回(6月)に調査用紙をご送付いたします。

御社名		店舗名	
御担当者役職		御名前	
電話番号		ファックス番号	
メールアドレス			

ご記入いただいた情報はエンタテインメントビジネス総合研究所よりの調査依頼のご送付に利用いたします。調査に関連して、ご連絡を差し上げる場合もあります。



株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所
<http://www.eb-i.jp> メール：info@eb-i.jp
電話：03-5688-4751 ファックス：03-5688-5353